

## 27年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 4月1日～ 27年4月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
4月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
入荷動向	スギ	16.7	△ 16.7	16.7
	ヒノキ	△ 50.0	△ 25.0	0.0
	カラマツ	△ 33.3	△ 50.0	△ 16.7
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	ヒノキ	0.0	△ 25.0	△ 33.3
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	33.3	33.3	0.0
在庫動向	スギ	16.7	0.0	△ 16.7
	ヒノキ	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	△ 57.1	△ 57.1	△ 57.1
	トドマツ	△ 75.0	△ 75.0	△ 50.0

- ・スギ原木の入荷は4月の増加が5月は減少、6月は増加、ヒノキは4月及び5月の減少が6月は横ばい、カラマツは3ヵ月連続して減少、トドマツは3ヵ月連続して横ばい。
- ・スギ原木の消費は3ヵ月連続して減少、ヒノキは4月の横ばいから5月及び6月は減少、カラマツは3ヵ月連続して横ばい、トドマツは4月及び5月の増加が6月は横ばい。
- ・スギ原木の在庫は4月の増加が5月は横ばい、6月は減少、ヒノキ、カラマツ及びトドマツは3ヵ月連続して減少。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
スギ	16.7	0.0	△ 16.7
ヒノキ	25.0	0.0	0.0
カラマツ	16.7	33.3	33.3
米マツ	△ 50.0	△ 75.0	△ 25.0
北洋カラマツ	△ 66.7	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

- ・スギ原木価格は4月のやや強保合が5月横ばい、6月は弱保合、ヒノキは4月のやや強保合が5月、6月は横ばいに
- ・カラマツは強含みで推移、米マツは弱含みで推移、北洋カラマツは弱含みから横ばい、その他は横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・民間からの出材が増えているものの製品市況が芳しくなく、国有林の請負生産が始まるまでは受入制限が必要な状況。国産材の出材が増加傾向のため製品市況が芳しくないものの、国産材を多く使った製品づくりを心がける。原木在庫が増えており、消費分の入荷を見込んでいる。
- ・スギは、地域間の温度差あり、概ね需給の不一致につき価格弱含んだところで入荷増。カラマツは出材地域限られるが積雪の影響なく順調。消費は全体的に若干少ない傾向で横ばい。
- ・ヒノキ材は多少減少しているも計画通り入荷。生産計画通り消費。在庫に大きな変動はないがヒノキが多少減少。
- ・在庫が増えすぎたため入荷調整行う。5月は連休で消費減る。在庫減らす。
- ・スギ順調、トドマツ→フローアーにて今後増加。減産継続中で消費変わらず。

## (原木価格)

- ・カラマツの出材量が減っている、産地が限られており、需要が増えていることから価格が上昇。
- ・国産材は価格変動ない。
- ・地域により状況まちまち。全体的（国外含め）に需要が低位のため弱含みの傾向変わらず。供給がタイトな素材は強含みの様もあり。国内素材はバイオマス関連の動きも注視。
- ・バイオマス関連により上昇傾向。
- ・国産材は、値崩れにより3月より底値感がある。米マツは日本向けの受注が減っているため価格も弱い。
- ・カラマツ取り合い価格上昇、バイオマス等含め今後収集に難ある。

## 27年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
生産動向	構造用(9mm)	△ 33.3	△ 33.3	△ 16.7
	〃 (12mm)	△ 28.6	△ 28.6	△ 14.3
	〃 (15mm)	△ 28.6	△ 28.6	△ 14.3
	〃 (24mm)	△ 57.1	△ 28.6	△ 14.3
	〃 (28mm)	△ 42.9	△ 28.6	△ 14.3
出荷動向	構造用(9mm)	△ 33.3	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 42.9	0.0	0.0
	〃 (15mm)	△ 28.6	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 57.1	△ 14.3	0.0
	〃 (28mm)	△ 42.9	△ 14.3	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	16.7	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (12mm)	14.3	△ 14.3	△ 14.3
	〃 (15mm)	14.3	△ 14.3	△ 14.3
	〃 (24mm)	28.6	0.0	△ 14.3
	〃 (28mm)	33.3	16.7	0.0

- ・合板全品目の生産は3ヵ月連続して減少。
- ・9mm, 12mm及び15mm合板の出荷は4月の減少が5月及び6月は横ばい、24mm及び28mmの出荷は4月及び5月の減少が6月は横ばい。
- ・9mm, 12mm及び15mm合板の在庫は4月の増加が5月及び6月は減少、24mmは4月の増加から、5月の横ばい、6月は減少、28mmは4月及び5月の増加が6月は横ばい。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
構造用(9mm)	0.0	0.0	50.0
〃 (12mm)	△ 14.3	△ 14.3	42.9
〃 (15mm)	0.0	0.0	42.9
〃 (24mm)	△ 14.3	△ 14.3	42.9
〃 (28mm)	△ 14.3	△ 14.3	42.9

- ・9mm及び15mm合板の出荷価格は、4月及び5月の横ばいが6月は強保合。
- ・12mm、24mm及び28mmの出荷価格は4月及び5月のやや弱含みが6月は強保合に。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・適正在庫。
- ・例年より10～15%減産中。
- ・出荷動向に合わせ減産、2, 3, 4月出荷が落ち込んだ。生産調整しているが増加傾向。
- ・在庫が増えてくると予想されるので生産調整行う。生産分は販売したいが需要なく荷動きは非常に悪い。当用買い在庫増える。
- ・5月連休に合わせてメンテ含めて工場ストップ。4月出荷は出だし弱い、5月連休明けに上昇か。

## (合板価格)

- ・価格は下落傾向であったが、値戻しの動きが出ている。
- ・全てに商品で下落している。
- ・弱含み。
- ・全品種下落状態、4月からの底上げ価格上昇に期待。
- ・荷動き非常に悪く流通サイドは更に価格下がると見ているが、価格はそのまま維持したい。
- ・値上げ進行中。